

10 月 14 日 中央アメリカ沖の地震

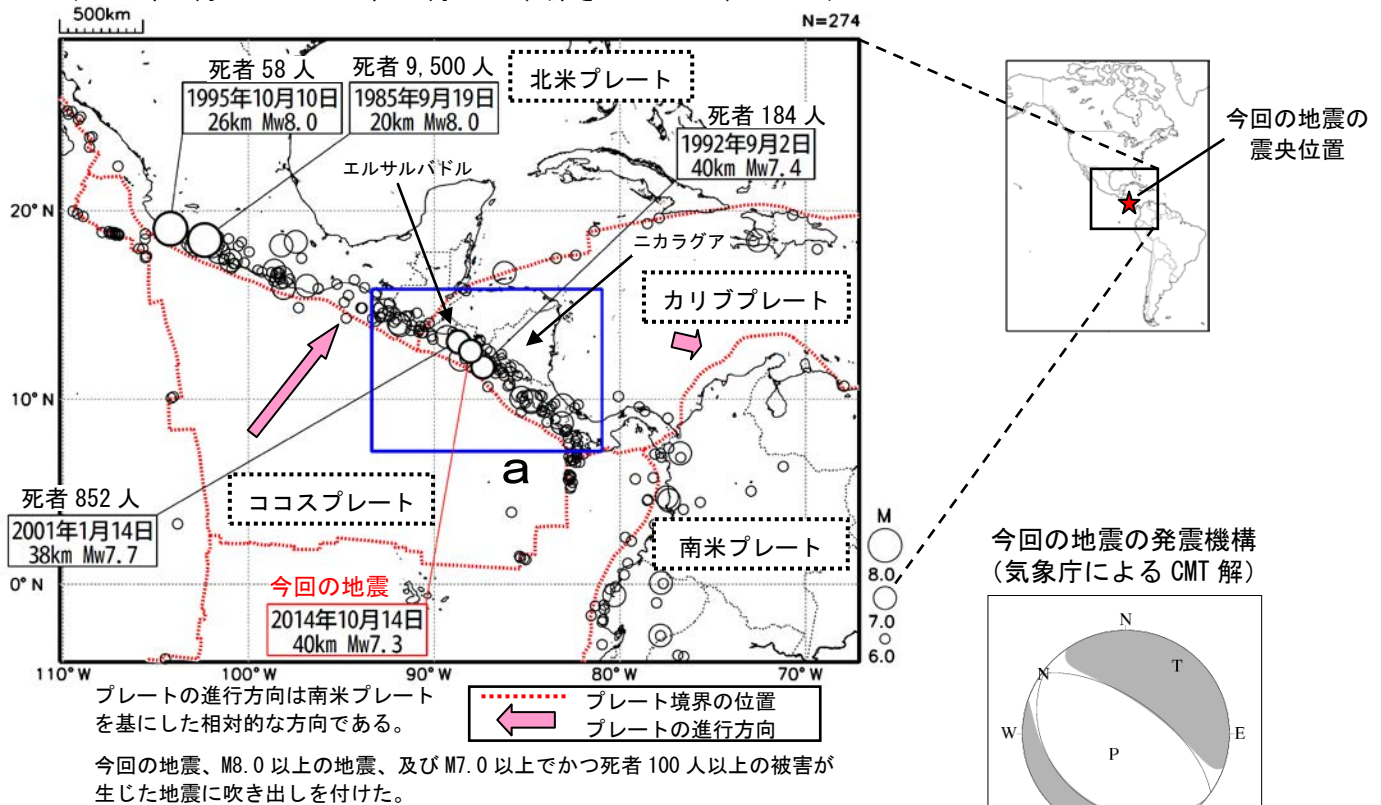
2014 年 10 月 14 日 12 時 51 分（日本時間）に、中央アメリカ（エルサルバドル、ニカラグア）沖の深さ 40km で Mw7.3 の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁による CMT 解）が北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型で、沈み込むココスプレート内部で発生した。

気象庁は、この地震について、同日 13 時 21 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。この地震により、エルサルバドルで死者 1 人、建物損壊などの被害を生じた。

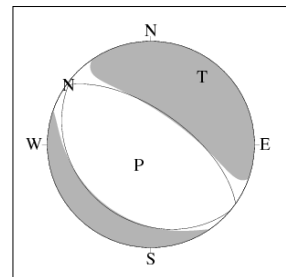
1980 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では M7.0 以上の地震がしばしば発生している。2001 年 1 月 14 日には Mw7.7 の地震が発生し、死者 852 人などの被害を生じた。

震央分布図

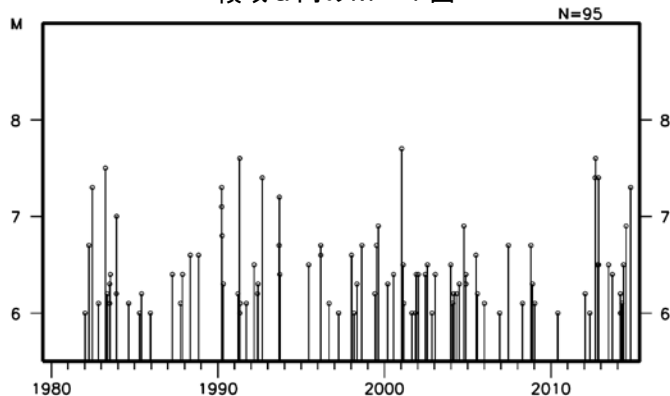
（1980 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、深さ 0～100km、M $\geq$ 6.0）



今回の地震の発震機構
(気象庁による CMT 解)



領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構（CMT 解）と Mw は気象庁による。その他の地震の Mw は Global CMT による。その他の震源要素及び被害は米国地質調査所（USGS）による。

今回の地震の被害は、国営ラジオエルサルバドルによる（2014 年 10 月 14 日現在）。過去の被害は、宇津及び（独）建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.